

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述(70点)・論述(30点)

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問4題・小問70問・論述2問

出題の特徴や昨年との変更点

時代別では、近現代から30%程度、原始・古代、中世、近世からそれぞれ20%程度出題された。

分野別では、政治から50%程度、社会経済から30%程度、外交・文化からそれぞれ10%程度出題された。

その他トピックス

IV(1)は、2025年度河合塾テキスト高校グリーンコース スタート学期『高3日本史論述』論述実践問題10がズバリの中。

III Cでは、昨年度に引き続き、諸資料を用いた問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述 <史料>	中世・近世・近代 政治・社会経済	A 応仁の乱(『大乘院寺社雑事記』) B 南鐮二朱銀の鑄造(『御触書天明集成』) C 婦人参政権獲得期成同盟会宣言書・規約等 (9)「南鐮」を2箇所目の空欄から確定したうえ、1両が16朱であることを念頭に(10)「八」を解答したい。(18)「1946年」は、史料の内容が女性参政権の実現を要求するものであることをふまえ、設問文をよく読んで第二次世界大戦後初の総選挙を想起したい。	標準
II	記述 (短文空欄補充)	原始～戦後 総合	①邪馬台国、②中大兄皇子の政治、③7～8世紀の銭貨、④弘仁・貞観文化期の漢詩文、⑤キリシタン大名、⑥近世の町の運営、⑦桂離宮、⑧水俣病、⑨国営企業の分割・民営化、⑩自衛隊の発足と海外活動 ア「一大率」、ク「文鏡秘府論」、ソ「水俣(病)」はやや難。これら以外は基本事項からの出題であり、高得点が期待される。	やや易
III	記述 (前提文) <史料・図版・表>	近世・近代・戦後 総合	A 文治政治への転換とその社会的・文化的影響 B 集会条例と集会及政社法の制定 C 近現代の小作地率・産業別就業者数 (9)「内務(卿・大臣)」は、治安維持を所轄する官庁である内務省から推測したい。(16)は、都市の過密化と農村の過疎化を念頭に解答したい。	やや易
IV	論述	古代・中世 政治・社会経済	(1) 摂関政治の特徴 摂関家が天皇との外戚関係を前提に天皇の後見役として権力を握った点、摂関家が官吏任命権を掌握し中・下級貴族を従属させた点を中心に論じたい。 (2) 鎌倉時代の経済 鎌倉時代における農業、手工業、商業、貨幣経済などの動向について、具体例を挙げつつ多角的に論じたい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ① I～Ⅲの記述 70 点、Ⅳの論述 30 点の配点を念頭に置いた学習計画を立てることが大切である。
- ② 全時代・全分野からまんべんなく出題される。I～Ⅲの記述式で高得点を確保するために、教科書を欄外の脚注なども含めてマスターしたい。
- ③ Ⅳの論述問題は対策の有無によって得点差がつく。早い段階から学習対策を立てて問題演習を行い、できる限り添削指導をうけること。
- ④ 史料問題は基本的に未見史料から出題されるが、市販の史料集などを利用して日頃から史料に慣れ親しんでおきたい。
- ⑤ 京都大学特有のひねりをきかせた設問対策として、夏期・冬期・直前講習および京大入試オープン・河合出版『入試攻略問題集 京都大学 地理・歴史』などの積極的な利用を薦めたい。